

## ルミノコッカス・フラベファシエンス由来のアセチルキシランエステラーゼ、 組換え型

Cat. No. NATE-1533

Lot. No. (See product label)

はじめに

*□明* 酵素学において、アセチルキシランエステラーゼ(EC 3.1.1.72)は、キシランおよびキシロ

オリゴ糖の脱アセチル化という化学反□を触媒する酵素です。この酵素は加水分解酵素のファ

ミリーに属し、特にカルボン酸エステル結合に作用するものです。

*別名* アセチルキシランエステラーゼ; EC 3.1.1.72; 188959-24-2; 9000-82-2

製品情報

種 ルミノコッカス・フラベファシエンス

由来 E. coli

形態 35 mM NaHepesバッファー、pH 7.5、750 mM NaCl、200 mM イミダゾール、3.5 mM

CaCl2、0.02% ナトリウムアジ化物および25% (v/v) グリセロール

**EC**番号 EC 3.1.1.72

**CAS**登□番号 188959-24-2;9000-82-2

*分子量* 27.2 kDa

**純度** >SDS-PAGEによる評価で90%

濃度 1 mg/mL

*最適pH* 6.8

*最適温度* 37 °C

*特異性* β-ナフチルアセテート、α-ナフチルアセテートに $\square$ する活性が低い

保管・発送情報

**保存方法** この酵素は常温で出荷されますが、-20°Cで保存する必要があります。